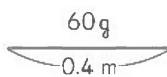


1

0.4 m の重さが 60 g の針金があります。

この針金について、次の問題に答えましょう。



- (1) 針金 0.2 m の重さは何 g ですか。また、針金 0.1 m の重さは何 g ですか。  
それぞれ答えを書きましょう。

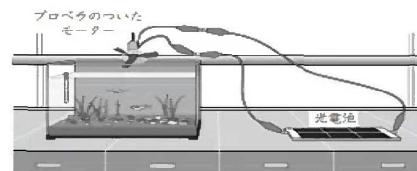
## 正答率が十分でない 枝問【算数A】

| 問題番号  | 問題の概要                        | 解答類型 |     |      |     |      |     |     |     |      |     |
|-------|------------------------------|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|
|       |                              | 1    | 2   | 3    | 4   | 5    | 6   | 7   | 8   | 9 9  | 無解答 |
| 1 (1) | 針金 0.2 m の重さと針金 0.1 m の重さを書く | 57.4 | 0.0 | 15.5 | 0.0 | 13.2 | 0.0 | 0.7 | 0.0 | 12.2 | 1.0 |
|       |                              | 60.5 | 0.0 | 11.7 | 0.4 | 10.0 | 0.1 | 0.5 | 0.1 | 15.3 | 1.4 |
|       |                              | 62.8 | 0.0 | 11.7 | 0.4 | 7.0  | 0.1 | 0.5 | 0.0 | 14.8 | 1.7 |

- 【解答類型 3】は、針金 0.2 m の重さを正しく求めることはできているが、針金 0.1 m の重さについては、【解答類型 1, 2】以外を解答している。例えば、針金 0.2 m と針金 0.1 m の差が 0.1 m であることから、針金 0.2 m の重さ 30 g の 30 から 0.1 を引いて 29.9 g と解答することが考えられる。
- 【解答類型 5】は、0.4 m の重さが 60 g の針金であることを捉えることができず、1 m の重さが 60 g の針金であると捉え、その 0.2 倍が 0.2 m の重さ、0.1 倍が 0.1 m の重さと判断していると考えられる。

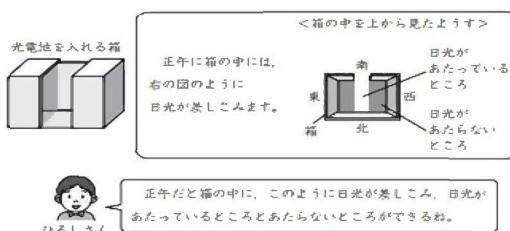
## 正答率 が十分 でない 枝問 【理科】

ひろしさんたちは、水温を下げるために、光電池で回るプロペラで起こした風を使うことにしました。



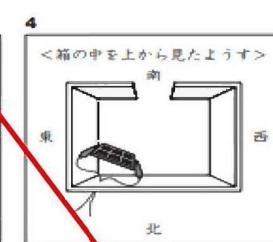
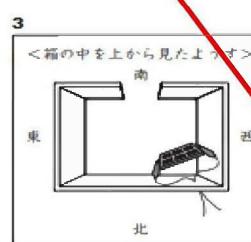
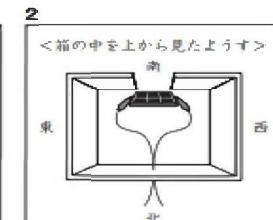
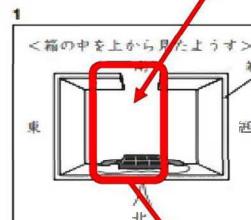
光電池の置き方を工夫して、午後 1 時ごろから午後 3 時ごろだけプロペラが回るようにできないかな。

そこで、ひろしさんたちは、光電池を下のような切れ込みの入った箱の中に入れて、日光のあたり方を調整することにしました。



ひろしさん

(4) 午後 1 時ごろから午後 3 時ごろだけプロペラが回るようにするには、箱の中で光電池をどのように設ければよいと考えられますか。以下の 1 から 4 までのなかから一つ選んで、その番号を書きましょう。



| 問題番号  | 問題の概要  | 知識 | 活用 | 1 | 2    | 3    | 4    |      |
|-------|--|----|----|---|------|------|------|------|
|       |  |    |    | ○ | 23.1 | 27.1 | 11.9 | 37.6 |
| 3 (4) | 目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の 1 日の位置の変化に合わせた箱の中での光電池の適切な位置や向きを選ぶ |    |    | ○ | 19.2 | 25.6 | 13.8 | 41.2 |
|       |  |    |    |   | 19.8 | 22.5 | 15.2 | 41.9 |

|     |   |                |
|-----|---|----------------|
| 1   | 2 | 1 と解答しているもの    |
| 2   | 3 | 2 と解答しているもの    |
| 3   | 4 | 3 と解答しているもの    |
| 4   | ◎ | 4 と解答しているもの    |
| 9 9 | 0 | 上記以外の解答<br>無解答 |

- 【解答類型 1, 2】は、光電池を南に向けて正午頃に日光が当たる状態であることを示す選択肢「1」や選択肢「2」を選んでいる。このことから、午後 1 時頃から午後 3 時頃までの間にある太陽の位置を南側と捉え、午後 1 時頃から午後 3 時頃だけ扇風機を作動させることに適用することに課題があると考えられる。

## 臼杵市中学校【国語】【数学】【理科】の分析と対応

|              | 国語A       | 国語B       | 数学A        | 数学B        | 理科         | 合計         |
|--------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|
| 臼杵市          | 78        | 63        | 67         | 45         | 68         | 321        |
| 大分県<br>全国ランク | 77        | 62        | 66         | 45         | 67         | 317        |
|              | 6位<br>九州1 | 8位<br>九州1 | 20位<br>九州1 | 34位<br>九州3 | 13位<br>九州1 | 21位<br>九州1 |
| 全国           | 76.1      | 61.2      | 66.1       | 46.9       | 66.1       | 316.4      |

- 組織的な授業改善が進んだ結果、学力が向上してきた。
- 低得点層だけでなく高得点層への習熟に応じた指導へ進んできた。
- 学力向上支援教員や習熟度別指導推進教員等のミドルリーダーが発信する新大分スタンダードに基づく授業改善が進んでいる。臼杵市教育研究協議会の国語部会、数学部会、理科部会が主体的・協働的な研究が進み、数値による検証改善サイクルが推進されてきた。
- 無解答率が低くなり、書くことにつながってきている。臼杵チャレンジ（全教員による週4日の演習15分）の取組の成果が表れてきている。  
表現力を問う活用問題を扱うことによって、無解答率が格段に下がり「書く力」「書く意欲」等の向上が見られる。

臼杵市の無解答率が全国無解答率に比べて低い問題数（割合）

| 国語A               | 国語B             | 数学A               | 数学B               | 理科                |
|-------------------|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 29問／32問中<br>(91%) | 8問／9問中<br>(89%) | 34問／36問中<br>(94%) | 12問／14問中<br>(86%) | 23問／27問中<br>(85%) |

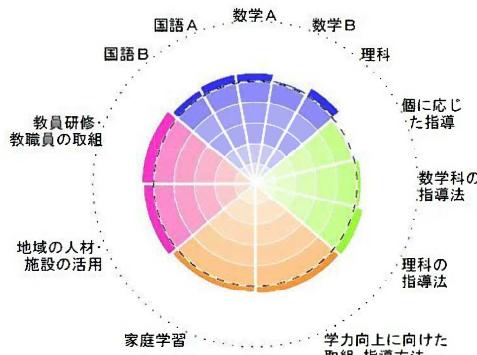
今後、臼杵市全5校で統一した学力向上策を進め、学校間格差や指導力の差のない授業力をつけていく

- 中学校「3つの提言」推進重点校（西中）と4校の協働体制を推進する（ミドルリーダーを核とする）
- 指導教諭、学力向上支援教員、習熟度別指導推進教員や教務主任、研究主任等のミドルリーダーによる授業改善を進め、臼杵教研教科部会の充実へつなげる
- 「臼杵チャレンジ」を国語、数学だけでなく、理科、英語、社会にも広げ、問題選定は各種学力調査の結果を反映する

| 学校数 | 生徒数 |
|-----|-----|
| 5   | 301 |

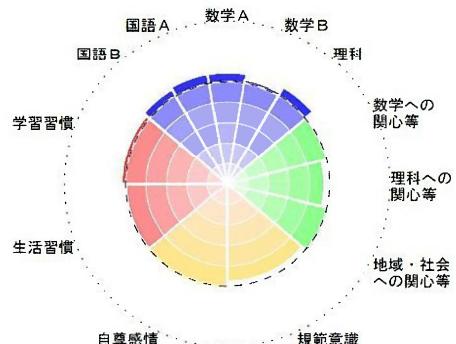
[学校運営]

学校質問紙（全国基準）



[児童生徒]

生徒質問紙（全国基準）

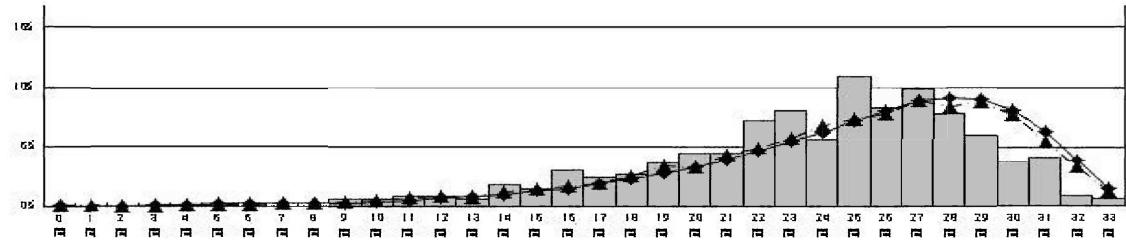


# 1 国語 学力向上支援教員（西中） 山村恵子教諭

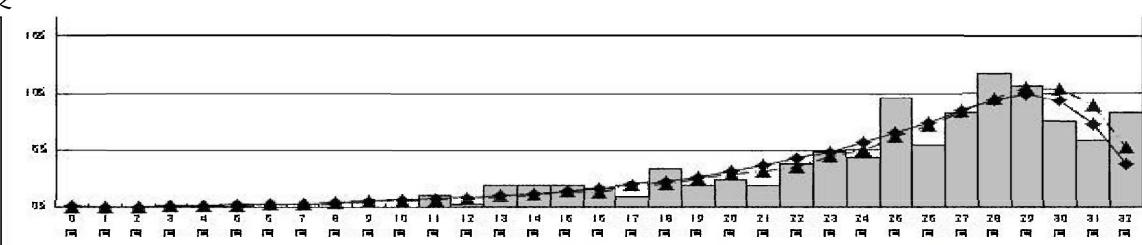
正答数分布図 横軸は正答数、縦軸は割合（◆：全国 ▲：大分県 □：臼杵市）

【中学校国語 A】 全 32 問 平均正答率 78 (大分県 77、全国 76.1)

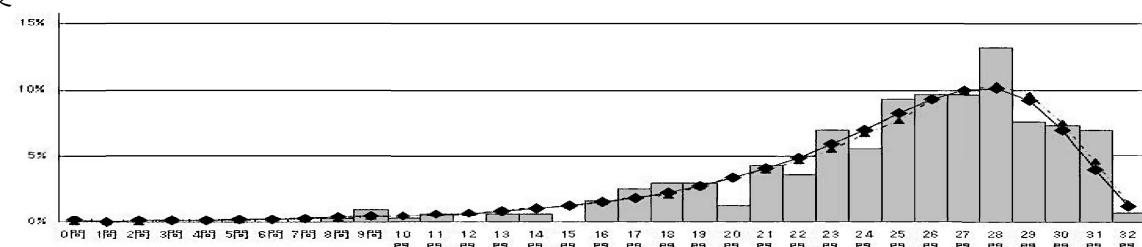
平成 28 年度



平成 29 年度

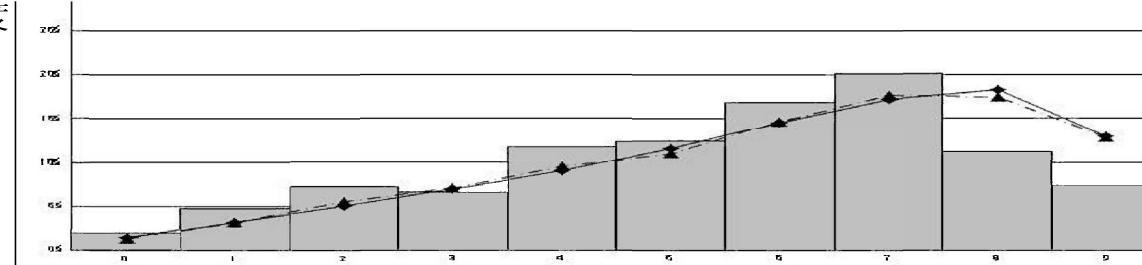


平成 30 年度

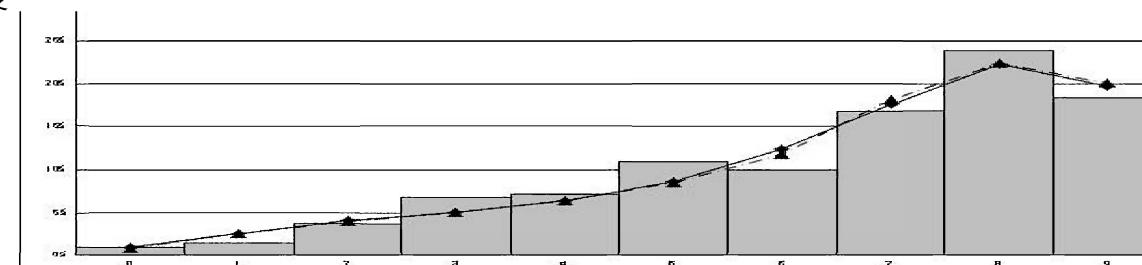


【中学校国語 B】 全 9 問 平均正答率 63 (大分県 62、全国 61.2)

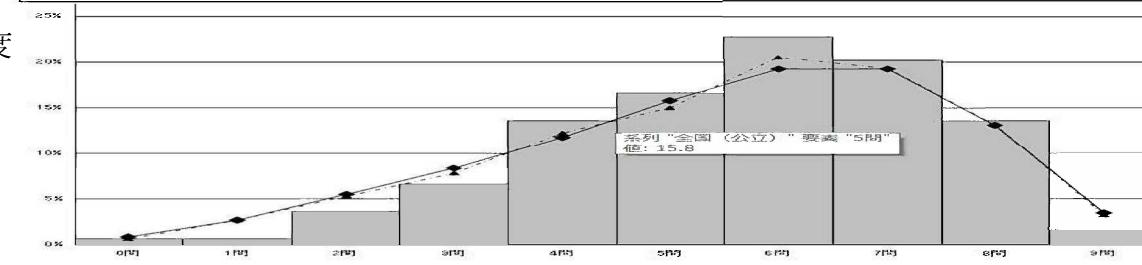
平成 28 年度



平成 29 年度



平成 30 年度



| 数値の高いもの  | 数値の低いもの   |
|--|---|
| <p>○29年度（2年生時）の大分県学力定着状況調査でも全領域・観点において偏差値50を超えていたが、今回も全領域・観点において全国値を超えている。</p> <p>○経年で臼杵市の課題であった【読む能力】に関する正答率が上昇し、A問題では全国値+1.9、B問題では+1.5になっている。</p> <p>○正答率90%を越える設問がA問題（32設問）では9設問、B問題（9設問）では2設問あった。</p> <p><b>【A問題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話の論理的な構成や展開などに注意して聞く」90.4%</li> <li>・「書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成する」91.4%</li> <li>・「文脈に即して漢字を正しく読む」98.0%・98.7%・98.3%</li> <li>・「適切な語句を選択する」（習性）93.7%（一方）97.4%</li> <li>・「心を打たれる」の意味 97.0%</li> <li>・「古典の文章と現代語訳とを対応」 94.0%</li> </ul> <p><b>【B問題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「質問の意図を考える」 91.1%</li> <li>・「話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する」 91.4%</li> </ul> <p>○無解答率がA問題では32問中29問全国値を下回っている。（10問は無解答率0.0%：全員書いている）B問題では9問中8問全国値を下回っている。（5問は無解答率0.0%）</p> | <p>○正答率が全国値を下回った設問はA問題では3問、B問題では1問あった。</p> <p><b>【A問題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「適切な語句を選択する」（せき）28.8% 全国値-0.4</li> <li>・「目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く」 18.5% 全国値-3.8</li> <li>・「古典に表されたものの見方や考え方を理解する」 78.8% 全国値-2.5</li> </ul> <p><b>【B問題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く」 10.9% 全国値-2.4</li> </ul> |

## 【成果】

- 国語科の授業改善の成果が表れてきている。
- 講義型授業から課題解決型（生徒が考える時間の確保）
- 活用力を高める取り組みにより、生徒の活用問題に対する苦手意識の減少。
- 定期テストでの活用問題の出題  
　　「うすきチャレンジ」の実施

## 【課題と対策】

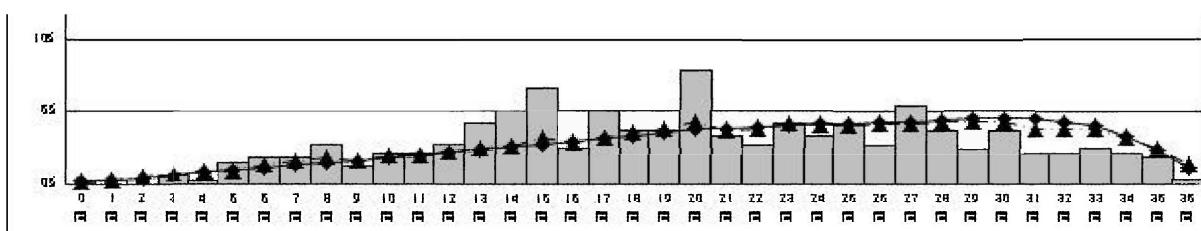
- 授業での表現活動をより充実させる。
- ・教師のしゃべりすぎ、一方的な説明を減らし、生徒が自分で考え、自分の言葉で説明したり、書いてまとめる場を多く設ける必要がある。
  - ・教科書の教材文を教えるのではなく、教科書教材を使ってどんな力をつけるのかを意識した授業の実施。
- 国語で学習したことを、他教科や日常生活で活用し、日常化させるための教科横断的指導（カリキュラムマネージメント）が必要。（日記や作文で漢字を使う指導、社会や理科、数学の短答記述や理科の観察記録を書く指導、総合学習での報告文や新聞、お礼の手紙の指導、各教科の資料や設問を読む指導、生徒会や係活動における話す・聴く・書く指導 等）

## 2 数学 学力向上支援教員（西中） 三浦智道教諭

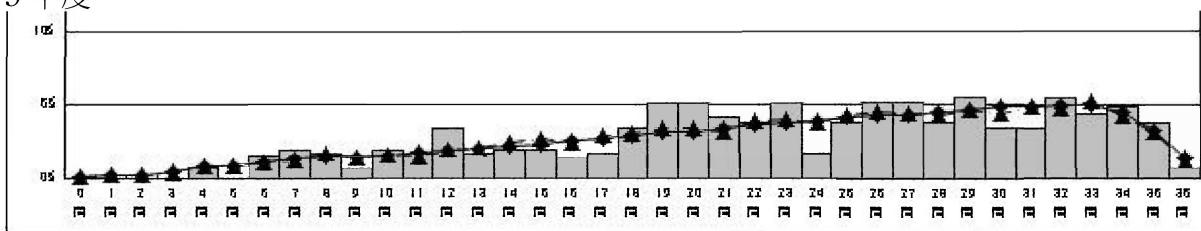
【中学校数学 A】 全36問 平均正答率 67 (大分県 66、全国 66.1)

正答数分布図 横軸は正答数、縦軸は割合 ( ◆ : 全国 ▲ : 大分県 □ : 白杵市 )

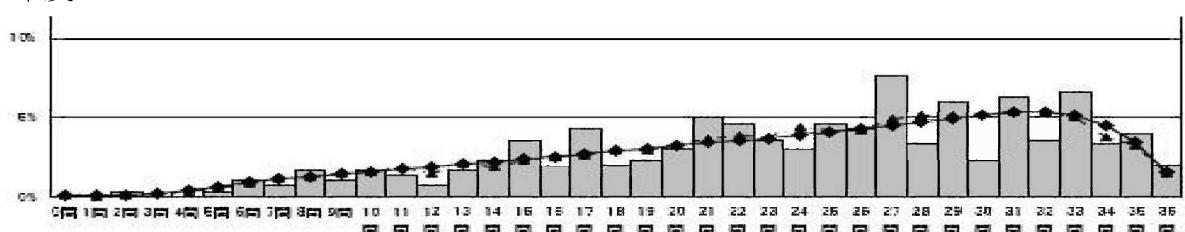
平成28年度



平成29年度

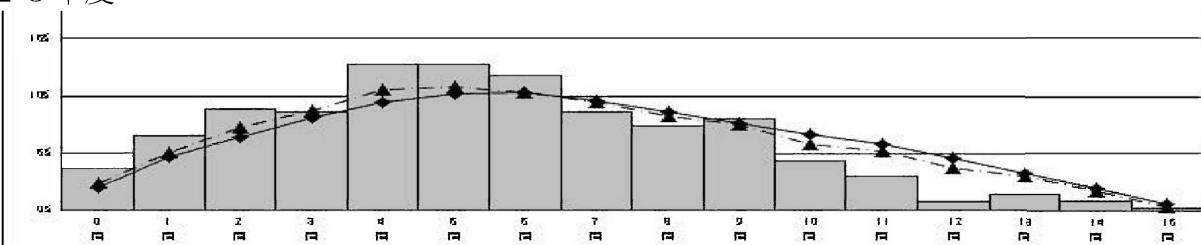


平成30年度

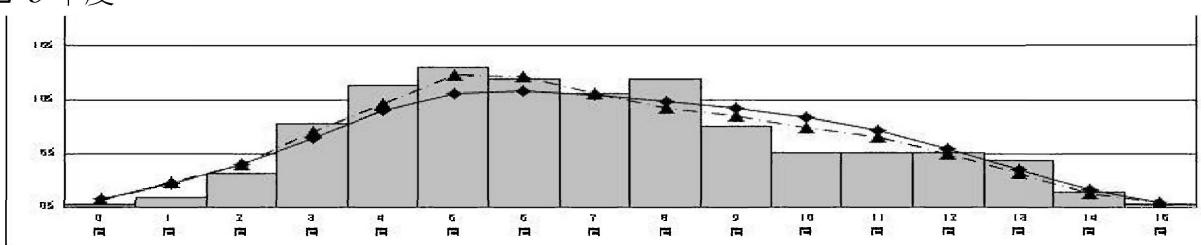


【中学校数学 B】 全15問 平均正答率 45 (大分県 45、全国 46.9)

平成28年度



平成29年度



平成30年度

